

施策23 豊かな地域資源を活用した観光の振興

作成日: 平成21年7月24日 主管課名: 商工観光部商工観光物産課

施策名称	主管課	施策の対象	施策の対象指標	施策の意図	施策の成果指標	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	目標値 (H20)	目標値 (H21)	目標値 (H22)	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	施策の20年度目標達成度とその要因	施策の22年度目標達成に向けての課題
23 豊かな地域資源を活用した観光の振興	商工観光物産課	観光客 観光関連業者	観光物産協会 会員数	大船渡の魅力(景観・味覚等)を知ってもらい、売上を増やしてもらう	観光客入込数	1,106	1,095	1,052	1,022	千人	成 1,131	成 1,131	成 1,131	業務取得	商工観光物産課	観光レクリエーション客等入込調査による推計値(暦年)	観光客入込数は、長引く景気の低迷などの影響により前年比で3.0%減少している。20年度目標値1,154千人に対して、実績値は1,022千人だった。また、20年度「海フェスタ岩手」が当市で開催され、観光客は570千人(大船渡市分)と、多大の経済波及効果があった。 主な観光資源(素材)として、碓石海岸、五葉山(登山客47千人)、イベント(夏まつり、碓石海岸観光まつり、産業まつり、浜一番まつり、長崎海岸ユニ・アワビまつり、これらの観覧者が332千人で全体の入込の32.5%)、吉浜・綾里・越喜米浪板の各海水浴場、五葉温泉、夏虫のお湯っこ、椿館、フレアイランドなどがある。また、観光バスの立ち寄り場所として、椿館、おさかなセンター、道の駅三陸ふるさと物産センターなどが中心となっている。 観光消費額は、H20から県の動態調査がなくなったため市単独で調査した数値に基づく結果である。 観光客入込数×一人一日当たり観光消費税額(市単独の動態調査により算出した単価) 宿泊者数は、20年度目標値305千人に対し、実績値は272千人だった。20年度は「海フェスタ」開催時期の7月に県内で2度の大地震が発生したため、当市の宿泊者数の減少に影響があったと思われるが、「海フェスタ」開催効果により若干の減少に止まった。なお、北東北三県とJRが共同で実施した「北東北DC(ディステイションキャンペーン)」は、県沿岸南部地域においてほとんど効果がなかった。 20年度の予算編成方針では、従来の予算の水準を維持しながら、成果の向上を図る施策として位置づけられており、碓石海岸観光まつり(秋)等の取り組みを新たに実施したが、長引く景気の低迷などの影響により成果向上に至らなかった。海フェスタ開催により、施策総コストは増加した。 当市の主要観光施設である碓石海岸レストハウスの改修工事を18年度から実施しており、建物本体工事は20年度で終了し、21年度浄化槽設置工事を残すのみとなっていることから、今後事業収益及び利用客の増加が見込まれる。 体験型観光については、それを組み入れたツアーが着実に成果を上げつつあり、今後とも推進していく必要がある。 当市の観光素材として、穴通磯をくり抜ける小型観光遊覧船に艇入れを図る必要がある。	22年度の目標達成に向けて以下の取り組みを進めていく。 ・海フェスタ後のツアー造成の継続 ・海フェスタで全国的に知名度がアップした大船渡市へのツアー商品の拡大を推進する。 ・観光客誘致の戦略的展開 ・四季折々の魅力あるイベント開催により観光誘客を図る。 ・鷹生ダム及び五葉温泉等の活用(周辺環境整備) ・平泉の世界遺産登録を契機に増加が見込まれる観光客を当市へ誘客できるようPRを展開する。 ・新魚市場の完成後は観光の名所として見学客を積極的に受け入れる体制作りを進める。 ・大船渡港に寄港する客船の乗客を対象とした小石浜(恋し浜)のオプションツアーを定着させる。 ・平成22年度末に開催される全国椿サミットに向け、関係部署と連携のもと園地の環境整備などを推進する。 ・体験型観光の推進 ・農作業体験、漁業体験メニューの拡充、教育旅行の誘致など、体験型観光を推進する。 ・豊富な地域資源を活用した特産品の開発 ・新たな特産品の開発や掘り起こしに努める。
					観光消費額	3,589	4,139	3,273	(6,409)	百万円	目 増加	目 増加	目 増加	業務取得	商工観光物産課	・県観光協会で実施している碓石海岸での観光消費額調査 H20から市独自のアンケート調査を実施した。		
					宿泊者数	306	293	289	272	千人	成 300	成 300	成 300	業務取得	商工観光物産課	観光レクリエーション客等入込調査による推計値(暦年)		
															目 305	目 305		

基本事業名称	主管課	基本事業の対象	基本事業の対象指標	基本事業の意図	基本事業の成果指標	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	基本事業の成果水準とその背景	基本事業の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の実績
1 観光客の誘致と観光宣伝の充実	商工観光物産課	観光客 観光関連業者 観光施設	観光物産協会 会員数	大船渡市を訪れてもらう(訪れたと思ってもらう、再び訪れてもらう) 魅力がPRされ、認知度が高まる	観光客入込数	1,106	1,095	1,052	1,022	千人	業務取得	商工観光物産課	観光レクリエーション客等入込調査(暦年)	観光客入込数は、18年度1,095千人、19年度1,052千人、20年度1,022千人で、平成14年度から徐々に減少する傾向で推移している。 観光誘客及び観光消費の増大を図るため、碓石海岸観光まつり、大船渡市産業まつり等のイベントを企画・実施した。 碓石海岸観光まつりについては、秋の景勝地への誘致を目的として、平成19年度から秋まつりを開催している。 市及び観光物産協会のホームページアクセス数は、18年度116,082件、19年度165,836件、20年度216,630件であった。19年度と比較して、5万件以上増加した。 桜やツツジ、シャクナゲ等タイムリーな情報を提供し、また、体験観光等の事業内容の紹介等に努めた結果、年々アクセス件数が増加してきている。	主な事務事業は以下のとおり ・大船渡ブランド化推進事業 ・食による観光誘客を図るため、都会の富裕層を対象とした豪華弁当「三陸黄金海鮮重」をPR、イベント等で販売した。 ・まつり開催運営支援事業 ・碓石海岸観光まつり実行委員会では、通年集客を図るため、秋まつりを10月5日に開催した。 ・大船渡市秋刀魚まつりも、産業まつりと同時開催であったものを、旬の時期9月14日に単独開催した。
					市のホームページ「観光」「宿泊」「イベントスケジュール」及び観光物産協会ホームページアクセス数	82,830	116,082	165,836	216,630	件	業務取得	商工観光物産課	市のアクセスカウンタの確認及び大船渡市観光物産協会からの報告数		
2 観光資源の発掘と連携	商工観光物産課	観光客 観光関連業者 観光施設	観光物産協会 会員数	体験してもらい、宿泊してもらい	体験型観光利用者数	96	40	31	52	人	業務取得	商工観光物産課	三陸・夢体験ツアー及びグリーン・ツーリズムモニターツアー等の参加者数	体験型観光利用者数は18年度40人、19年度31人と減少していたが、教育旅行を受け入れるための民泊受入農家が増加したことにより、20年5月に仙台市からの52名の中学生を受け入れることができた。 また、体験観光を普及させるため、ホームページへの情報掲載等において周知に努めた。 宿泊者数は、18年度が293千人、19年度が289千人、20年度272千人で年々減少している。 観光メニュールート数は、18、19年度が20メニュー、19、20年度は40メニューであったが、主な理由としてグリーンツーリズムの体験メニューが充実したことによる。 14年度から取り組んできた相模原市の夢体験ツアーは、18年度を持って旅行者によるメニュー化が図られた。そのツアーにより19年度は31名、20年度は28名の参加があった。 海フェスタ開催に合わせて、観光ツアーが企画実施された。	体験型観光については以下のとおり ・観光施設整備事業 ・碓石海岸レストハウスの改修、碓石海岸の遊歩道整備や吉浜海水浴場等の監視塔の設置を行った。 ・鹿の森公園管理運営事業 ・鹿の森公園の管理運営業務を三陸ふるさと振興株式会社に指定管理委託 そのほか関連事務事業として、グリーンツーリズム推進事業を実施している。
					宿泊者数	306	293	289	272	千人	業務取得	商工観光物産課	観光レクリエーション客等入込調査(暦年)		
					観光メニュールート数	20	20	40	40	メニュー	業務取得	商工観光物産課	三陸・夢体験ツアー及びグリーン・ツーリズムモニターツアーの実施ルート数、民宿等が行っている体験メニュー数を合算		
3 特産品の開発と販売促進	商工観光物産課	観光客 観光関連業者 観光施設 特産品	観光物産協会 会員数	食事をしたりおみやげを買ったりしてもらう	椿寿料理提供店舗数	21	18	17	17	店舗	業務取得	商工観光物産課	おおふなと椿寿料理普及事業実施協力店(宿)	椿寿料理提供店舗数は、当初32店舗あった提供店が20年度には17店舗にまで減少した。 椿寿料理については、地元食材を普段から確保しておくことが難しく、予約注文時のみ対応する店が多くなった。 観光物産協会ホームページのショッピング販売件数は、18年度58件、19年度60件、20年度51件と概ね横ばいの状態で推移している。 観光消費額は、18年度2,087百万円、19年度(2,087)百万円、20年度(調査中)であった。 碓石海岸の拠点施設として重要な役割を果たしている碓石海岸レストハウスは、築後34年を経過し、老朽化が進んでいるため、18年度から3か年をかけて改修を実施した。 主要物産販売施設売上額は、17年度630百万円、18年度482百万円、19年度425百万円と減少傾向にある。	主な事務事業は以下のとおり ・物産販路拡大事業 ・首都圏等への物産販路拡大のため、銀河連邦共和国である相模原市のさくらまつり、長野県佐久市の農業まつり等に参加するとともに、いわて銀河プラザ等での物産販売と観光宣伝等に努めた。
					観光物産協会ホームページのショッピング販売件数	19	58	60	51	件	業務取得	商工観光物産課	大船渡市観光物産協会からの報告数(平成17年度開設)		
					観光消費額(上段:おみやげ代、下段:その他飲食代)	802	1,003	813	1,007	百万円	業務取得	商工観光物産課	・県観光協会で実施している碓石海岸での観光消費額調査 平成20年度から市独自のアンケート調査の実施。		
					主要物産販売施設売上額	630	482	425	未把握	百万円	業務取得	商工観光物産課	三陸ふるさと物産センター、おさかなセンター三陸、碓石海岸レストハウスの販売額合計から把握 さんま宅配金額を追加		